



## 話し合いに活かすファシリテーションのコツ

住民や同僚との効果的な話し合いには、これまでの保健活動を通して習得した技術に加え、話し合いそのものの質を高めるファシリテーションのコツを理解しておくことが大切だと思います。今回はファシリテーションの基礎知識や技術について、講義とグループワークを通して学びました。

	効果 大きい	効果 小さい
習得簡単		
習得困難		

▲話し合いやまとめることのコツについて、習得と効果の2つの視点で、各班ごとにマトリックスを用いて整理しました。

### 講義の様子

講義では、ファシリテーションの骨格、話し合いのはじまりから発表までの各段階でのポイントなどの基礎知識に加え、資料作り、時間管理のポイント、そして、ファシリテーションの5つの道具についても学びました。



▲講義中に、グループワークで話し合った内容を発表しました。

### ～講師紹介～



福島県立医科大学  
医療人育成・支援センター  
助手 安井 清孝

1970年 東京・赤羽生まれ  
1997年 看護師免許取得  
2003年から医療シュミレーション教育施設管理者として医療教育に従事。  
このときからシュミレーション教育を通じてファシリテーション技術を取得。  
2012年から東日本大震災に設立された福島県立医科大学に勤務。  
趣味：ランニング

# グループワークの様子

グループワークでは、ファシリテーションの活用したい場面、これまでに話し合いで困ったことについて、意見を出し合いました。活用したい場面では、話し合いが進まない時、意見が偏る時などがあげられました。参加された皆さんは、積極的にグループワークに参加されていました。



▲ファシリテーションの技術として重要なことについてグループごとにマトリックスを用いて整理しました。

## アンケート集計結果

アンケート回収数は、参加者29名中28名でした。

評価項目	そう思う*
研修の資料や進行について 配布資料は適切だった 時間配分は適切だった 進行は適切だった	100% 100% 100%
講義について 講義内容が理解できた 講義は今後の保健活動に役立つと思う 学んだことを同僚に伝えたいと思う	100% 100% 93%
話し合いについて 話し合いは今後の保健活動に役立つと思う	96%
あなたご自身について 研修を受ける前よりも、保健活動に対する自信が増したと思う 研修を受ける前よりも、健康に関して住民と話し合う自信が増したと思う	79% 79%
今後の研修に向けて 今日のような研修にまた参加したいと思う この研修への参加を同僚にお勧めしたいと思う	96% 96%

\* 5段階評価：「1. 全くそう思わない」～「5. 大いにそう思う」の4と5の合計

## 編集後記

ファシリテーションの技術は地域住民の方々とともに健康の保持増進を目指す保健師にとっては重要な技術の一つだと思います。本日は、ファシリテーションの技術を活用する場面、そして、話し合いのはじまりから発表までの各段階で効率的な話し合いを促すための工夫点を学ぶことができました。私も日々の保健活動で心がけようと思います。（吉田）

### \* 復習ポイント \*

- ・ファシリテーションの4つの構造とは？
- ・マトリックスの使い方は？
- ・時間管理のポイントとは？